

フローリングの「ベタベタ」、気になることがあると回答した人 73.0%

掃除機だけでは取りきれないカビや花粉・ダニの死骸の実態 床のベタベタに積った雑菌、床拭きロボットによる 除去率 99.9%

アイロボット日本総代理店セールス・オンデマンド株式会社(本社：東京都新宿区 / 代表取締役社長 室崎 肇 以下、セールス・オンデマンド)では、いよいよ迎える夏本番に向けて、第三者機関に委託し、掃除機がけ後のフローリングの実態と床拭きロボット掃除機「ブラーバ」を使用した際の雑菌の除去率について調査しました。

また、全国の20代～50代の女性600名を対象に、夏の自宅での過ごし方と、日常の床掃除についてアンケート調査を実施しました。

今回の調査結果の概要は下記となります。

【全国の20代～50代の女性600名を対象に実施した意識調査結果】

■ 夏場の床の「ベタベタ」、気になることがあると回答した人 73.0%

- ・我が家だけ?と疑問に感じていた夏場の床の「ベタベタ」、73.0%が気になると回答
- ・「親しき仲にも礼儀あり」。約4割が他人を自宅に上げる際、相手が裸足だと気になると回答

■ 87.0%が水拭き掃除の必要性を感じるも、実際に水拭き掃除を行う家庭は半数程度

- ・8割以上が床の水拭き掃除の必要性を感じるが、約4人に1人が掃除機がけのみで終了
- ・ロボットや家族が代行してくれるなら本来実施したい水拭き掃除。日常、やらない人の半数が「面倒くさい」

【掃除機がけ後の床調査結果】

■ 日常の掃除機がけのみでは取りきれないカビ・花粉・ダニの死骸の存在

- ・環境調査を行う株式会社愛研にて、一般的な家庭で掃除機をかけた後の床に、床拭きロボット掃除機「ブラーバ」を使用し、水拭き掃除を行ったところ、平均で塵量 183.3mg、ダニ 11.3 匹、花粉 3,201 個、カビ 20,667 個が拭きとれたことが判明^{※1}(図1参照)

【床拭きロボット掃除による雑菌除去調査結果】

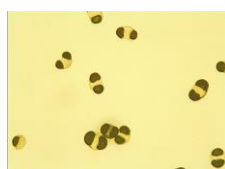
■ 床拭きロボット掃除機による雑菌の除去率 99.9%^{※2}

- ・衛生微生物研究センターの調査による、床拭きロボット掃除機「ブラーバ」使用前後の雑菌の除去率を比べたところ、99.9%の細菌が除去されていることが判明(図2参照)

【掃除機をかけた後に、ブラーバによってとれたハウスダスト】(図1)



チリダニ



マツ花粉



ヒョウダニ

【水拭きをしない床に繁殖する細菌】



足裏の細菌(培養後)

【ブラーバによる細菌の除去】(図2)



「ブラーバ」使用前



「ブラーバ」使用后

画像は実測データに基づき、同数の細菌を培養したイメージです

沖縄は既に梅雨明けし、日本各地でも順々に梅雨明けを迎え、夏本番に向け、汗が気になる時期となりました。今年
は特に例年と比べ、「じめじめの夏」となりそうで、湿度の高い日本の夏は、年間で最も菌が繁殖しやすい季節です。汗
をかくのは顔や背中だけでなく足の裏にもたくさんの汗をかきます。セールス・オンデマンドが全国の女性 600 名を対象
に、夏場の自宅の過ごし方を聞いたところ、65.7%の人が「裸足」で過ごすと回答しました。

また、「夏に自宅の床を歩く際、床のベタベタが気になることはありますか」との質問には、73.0%の女性が「気になる」
と回答しました。

そこで、日常の床掃除の仕方を聞いたところ、掃除機の使用が最も多く、約 8 割の人が使用していることが分かりまし
た。しかし、そのうちの約 4 人に 1 人は雑巾がけをせずに、掃除機がけのみで終了していることが分かりました。

水拭き掃除については、本来は頻繁に実施したいとの思いがある中、「面倒くさい」との理由で 4 割程度にとどまりまし
た。しかし、日常、水拭き掃除を行っていないに水拭き掃除の必要性を聞いたところ、8 割以上がその必要性を感じてお
り、仕事・家事・育児・介護に追われ、毎日の掃除に手が回りきれていないことがうかがえました。

これらの調査結果を受けて、一般的な家庭 3 軒で掃除機をかけたばかりの床に、床拭きロボット掃除機「ブラーバ」を
使用して水ぶき掃除を行ったところ、塵量平均 183.3mg、ダニの死骸 11.3 匹、花粉 3,201 個、カビ 20,667 個が拭き取れ
たことが判明しました。見た目上はキレイに感じられていても、実は、細かくて目には見えづらいホコリや花粉、ダニの死
骸がまだまだ取りきれていない事実が調査結果より明らかとなりました。

公衆衛生の専門家、衛生微生物研究センターの李所長によると、「足の裏には汗腺と呼ばれる汗を出す器官が密集
しており、毎日びっくりするほどの汗をかいています。そして、水虫菌(白癬菌)や細菌などの微生物は汗を栄養に増殖し
ます。汗をかきやすいベタベタ足で床を歩くことにより、足で増殖した表皮ブドウ球菌やマイクロコッカ属などが床に付着し、
さらに、ホコリがたまることで、床がベタベタするようになります。一度付着した細菌は日常の掃除機がけでは取り除くこ
とが難しく、皮脂汚れをしっかりと拭きとるために、こまめなフローリングの水拭きも取り入れた方が望ましいです。」と話
し、水拭きで床をサラサラに保つことの必要性が分かりました。

実際に、衛生微生物研究センターの協力で床拭きロボット「ブラーバ」を使用し、水拭き掃除をする前と後の床を比べ
たところ、床に残った雑菌の 99.9%が拭き取れたことが証明されました。

- ※1 : 測定機:ブラーバ 380j
測定場所: 一般住宅リビングルーム
検査機関: 株式会社愛研
- ※2 : 測定機:ブラーバ 380j
測定方法: 細菌除去試験
試験結果: 99.9%除去
試験機関: 衛生微生物研究センター

参考サイト: アイロボット公式サイト

URL: <http://www.irobot-jp.com/braava/floordust.php>

<参考資料>

●衛生微生物研究センター 所長 李 憲俊

～1991年 韓国国立忠南大学農学部獣医学科にて助教授を務める。

1991年～1996年 日本(財)食品薬品安全センター秦野研究所微生物学研究室。

1996年～現在 衛生微生物研究センター開設。

研究分野:

- ・環境および各工業製品の汚染微生物の分布や特徴について
- ・各工業製品の汚染、劣化防止法について
- ・抗菌・抗カビ試験方法の改良について

●株式会社 愛研

環境総合調査アセスメント

大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・生物調査・交通環境その他調査・土木建設事業に関する騒音振動調査、各種公
害防止浄化施設調査等を実施。

【調査概要】

調査エリア: 全国

調査対象者: 20~59 歳の女性

サンプル数: 600

調査期間: 2015 年 6 月 24 日~6 月 26 日

調査方法: インターネットリサーチ

* 本資料に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず『セールス・オンデマンド調べ』と明記ください。

■ 夏場の床の「ベタベタ」、気になることがあると回答した人 73.0%

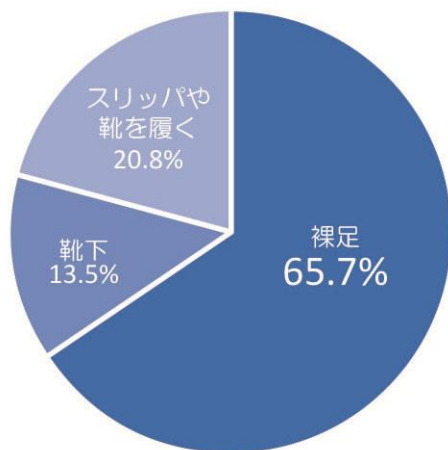
- ・ 我が家だけ?と疑問に感じていた夏場の床の「ベタベタ」、73.0%が気になると回答
- ・ 「親しき仲にも礼儀あり。」約 4 割が他人を自宅に上げる際、相手が裸足だと気になると回答

まずはじめに、夏における自宅での過ごし方について聞いたところ、65.7%の方が「裸足」で過ごすと回答しました。日本の蒸し暑い夏では少しでも快適に過ごすため、裸足で過ごす人が多いことが分かりました。

一方、他人が自宅に上がる際に相手が裸足だと気になるかという質問では、40.3%が「気になる」との回答結果が得られました。夏は快適に「裸足」で過ごしたい人が多い一方で、足裏の汚れや汗については敏感なことがうかがえます。

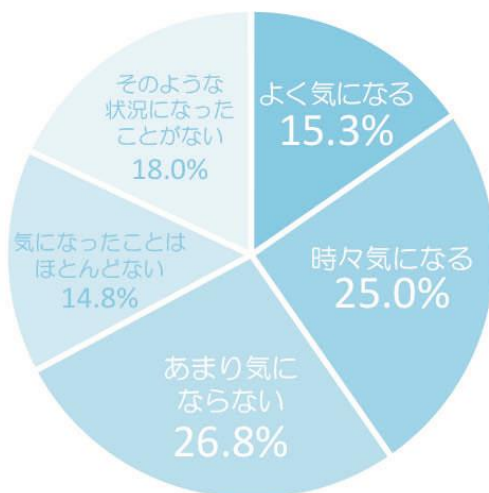
また、夏場に自宅の床を歩く際、「床のベタベタ」が気になることがあるかと質問したところ、7 割を超える人が「気になる」と感じていることが分かりました。

夏における自宅の過ごし方で最も多いと思われるものをお選びください。



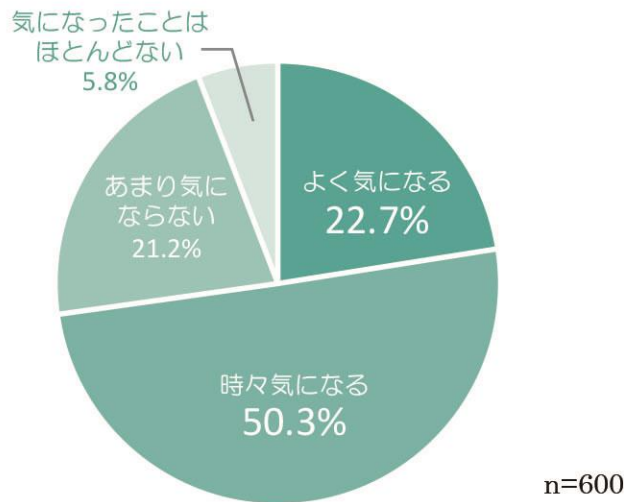
n=600

自宅に知人やお子さんの友人が遊びに来た際に、相手が裸足だと気になったことはありますか。



n=600

夏に自宅の床を歩いた際、床のベタベタが気になることはありますか。

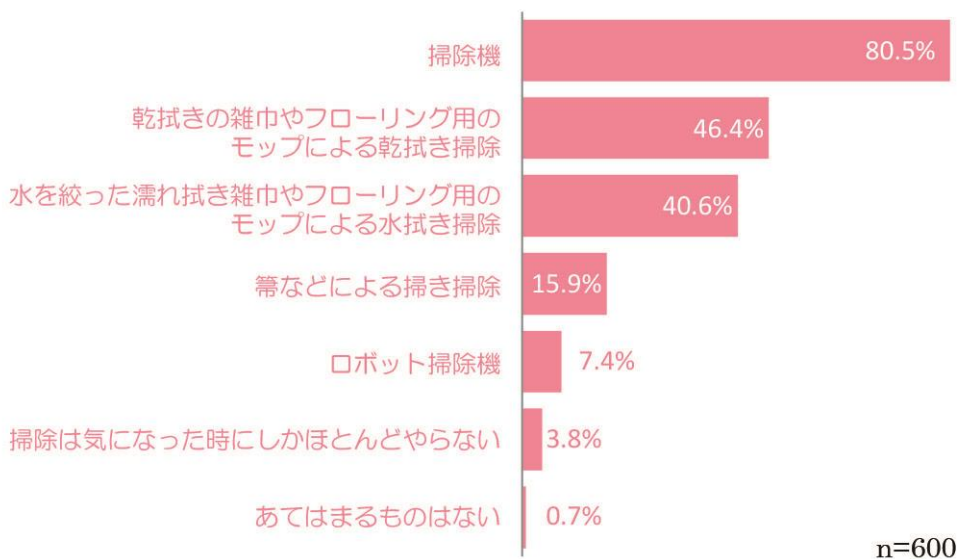


- 87.0%が水拭き掃除の必要性を感じるも、実際に水拭き掃除を行う家庭は半数程度
- ・床の水拭き掃除を8割以上が必要性を感じるが、約4人に1人が掃除機がけのみで終了
- ・ロボットや家族に代行してほしい水拭き掃除。日常、やらない人の半数が「面倒くさい」

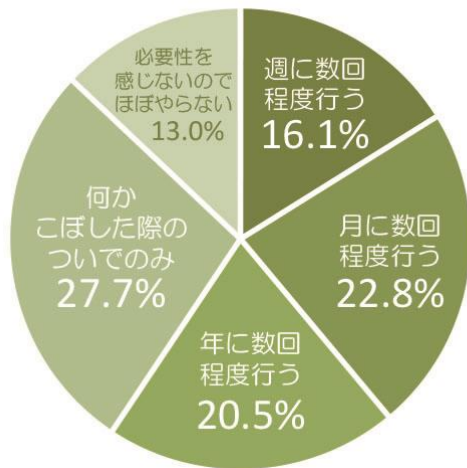
次に、日常の床掃除の仕方について聞いたところ、8割以上の方が掃除機を使用して掃除をしている一方、拭き掃除については、4割程度にとどまり、掃除機がけのみで終了していることが分かりました。

床の水拭き掃除の必要性については、87.0%の方が水拭き掃除を必要と感じていることが判明し、必要性は感じているものの、「面倒」と回答する人が多く、日々の仕事や家事に追われ、水拭き掃除まで手を付けられていないことがうかがえました。そこで、家族やロボットが代行してくれるなら、水拭き掃除を行いたいかという質問では、8割以上の方が水拭き掃除を行いたいと考えており、そのうちの半数が本来は3日に1回以上の水拭き掃除を実施したいと考えていることが分かりました。

日常の自宅の床掃除の仕方であてはまると思われるものをお選びください。

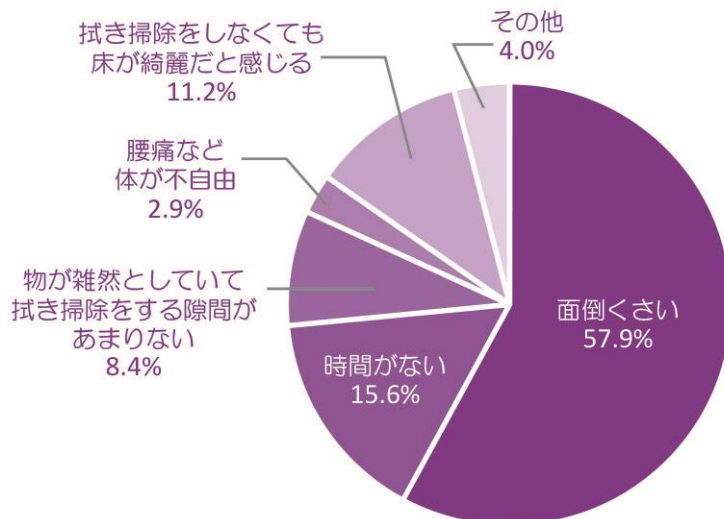


日常、床の水拭き掃除について必要性を感じますか。



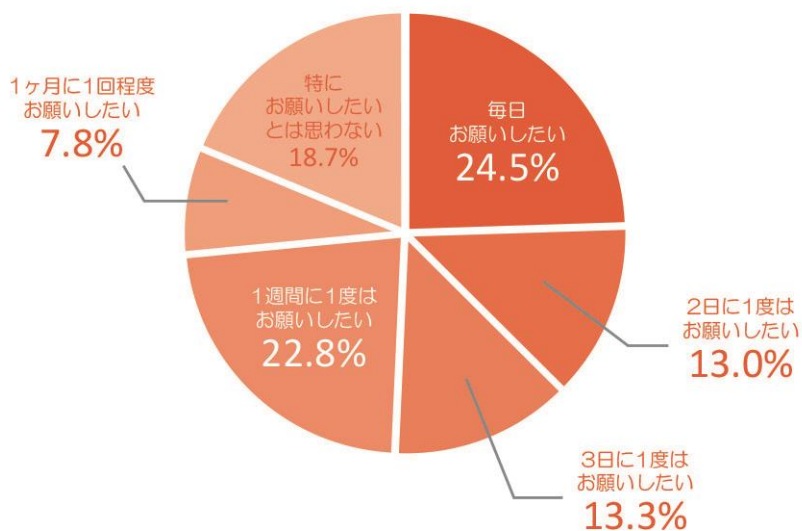
n=347

「水拭き掃除」を選ばれなかった方に回答理由として最も近いものをお選びください。



n=347

家族やロボットが代行してくれるなら、本来実施したいと思う水拭き掃除の頻度について最も近いものをお選びください。



n=347

● 米国 アイロボット社について



アイロボット社 CEO コリン・アングル

アイロボット社は、米国マサチューセッツ工科大学(MIT)で最先端の人工知能研究を進めていた科学者3人によって1990年に創立されたロボット産業のリーディングカンパニーです。以来、20年以上にわたり、世界のロボット業界を牽引しています。

研究者やエンジニアなど、ロボット工学におけるスペシャリストたちが所属する世界規模の企業として認められています。

「人の命や尊厳に関わる3D = Dull, Dirty, Dangerous(退屈、不衛生、危険)な仕事から人々を解放する」という思想のもと、実用的なロボットを開発しています。アイロボット社のロボットは人命救助やピラミッド発掘現場、海洋調査など、世界中で活躍しています。

この高い技術を転用してルンバなどの家庭用ロボットが開発されています。



床拭きロボット ブラーバ

<床拭きロボット ブラーバ>

ブラーバはボタン一つ押すだけで、人間に代わってお部屋を隅々まで拭き掃除してくれる床拭きロボットです。水拭きとから拭き、2つの清掃モードを選択し、手軽に拭き掃除をすることが可能です。また、「NorthStar™(ノースター)ナビゲーションシステム」の搭載により、ブラーバ自身が、正確な位置情報を把握することができるため、お部屋中をくまなく動き、拭き掃除に最適な清掃動作を実現しています。

● セールス・オンデマンド株式会社について

セールス・オンデマンド株式会社は、2004年設立以来、米国アイロボット社の日本総代理店として「ロボット掃除機 ルンバ」の輸入・販売・サポートを行い、ルンバをベストセラー商品に育てあげました。また、2010年よりスウェーデン ブルーエア社「ブルーエア空気清浄機」を、2014年6月からは米国ロモティブ社「エデュケーショナルロボット ロモ」の輸入販売にも事業を拡大。「発見・発創・発動で新たな価値を創造し、人や社会に『これ、いい!』を提供する」をビジョンに掲げ事業に取り組んでおります。

※ iRobot、iRobotロゴ、アイロボット、ルンバ、ブラーバ、NorthStarはアイロボット社の登録商標または商標です。